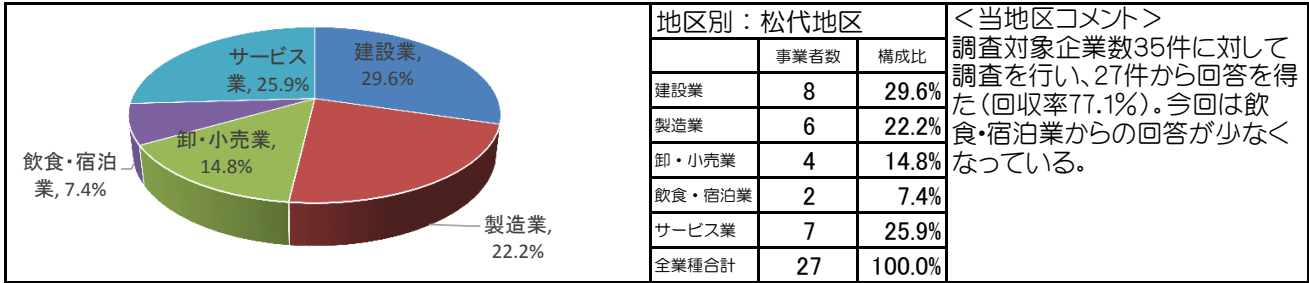
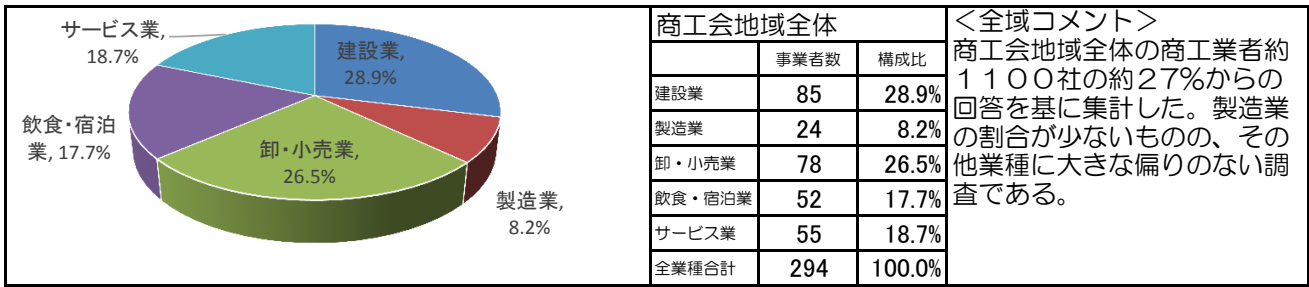


十日町市商工会地域 企業景況調査 第3四半期報告書 (H28.10.1~H28.12.31) 松代地区

小規模事業者以外含む全事業所

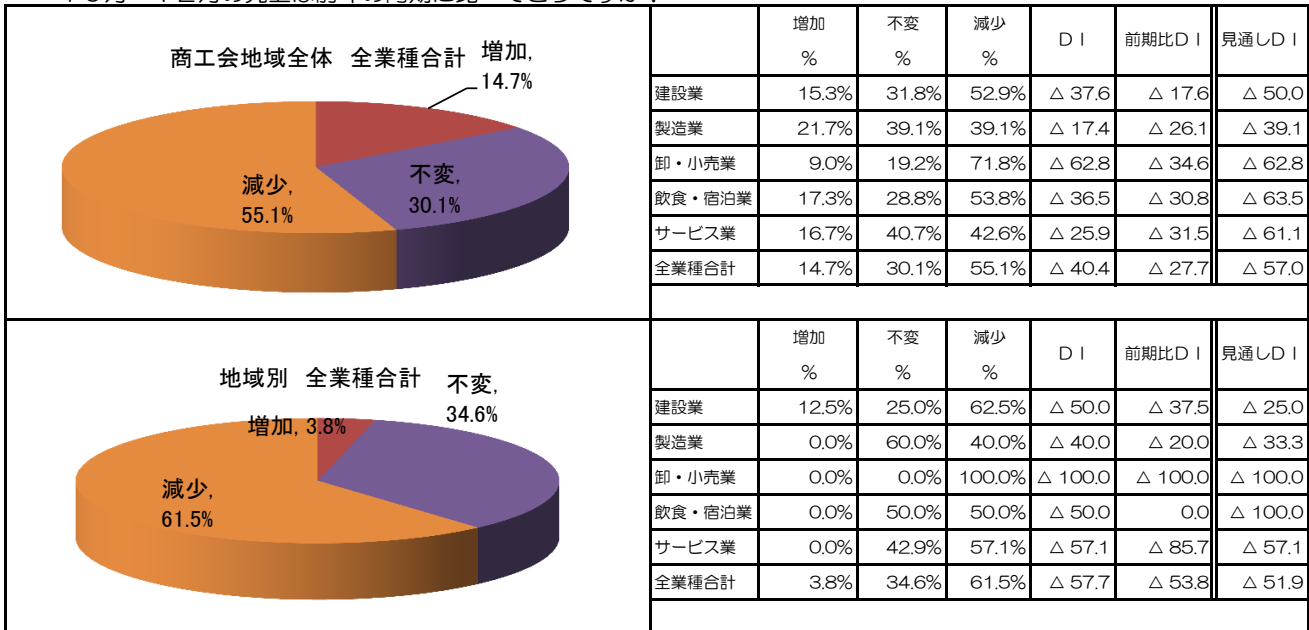
◇ 調査対象事業所構成割合



DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

1. 売上について

・10月~12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？



<全域コメント> 売上は、前年同期と比べて全業種△40.2ポイント減少。特に、卸・小売業は△62.8ポイントと大きく減少。前期比でも、建設業の減少幅が小さいだけで、全業種で△27.7ポイントと減少。今後の見通しでは、冬場を迎える当市内の地域特性でもあるが、全業種△57.0%減少予想である。

<当地区コメント> 売上は、前年同期と比べて全業種で△57.7ポイントとなっており、特に、卸・小売業では全ての事業所が「減少」と回答している。前期比と来期の見通しにおいても、卸・小売業の全てが「減少」の回答であり、見通しにおいては、飲食・宿泊業も△100ポイントになっている。建設業において来期の見通しのマイナス幅が減少し、特徴的となっている。

2. 採算について

・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業		16.5%	40.0%	43.5%	△ 27.1	△ 15.3	△ 50.0
	製造業		17.4%	47.8%	34.8%	△ 17.4	△ 27.3	△ 39.1
	卸・小売業		5.1%	30.8%	64.1%	△ 59.0	△ 41.0	△ 59.0
	飲食・宿泊業		15.4%	28.8%	55.8%	△ 40.4	△ 38.5	△ 63.5
	サービス業		14.8%	42.6%	42.6%	△ 27.8	△ 27.8	△ 51.9
	全業種合計		13.0%	36.6%	50.3%	△ 37.3	△ 29.6	△ 54.3
地域別 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業		0.0%	37.5%	62.5%	△ 62.5	△ 62.5	△ 25.0
	製造業		0.0%	40.0%	60.0%	△ 60.0	△ 40.0	△ 33.3
	卸・小売業		0.0%	0.0%	100.0%	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0
	飲食・宿泊業		0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	0.0	△ 100.0
	サービス業		0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 57.1	△ 42.9
	全業種合計		0.0%	38.5%	61.5%	△ 61.5	△ 57.7	△ 48.1

<全域コメント> 採算は、前年同期と比べて全業種△37・3ポイント減少。特に、卸・小売業では△59・0ポイント減少と大きく悪化。前期比でもこの傾向は変わらず、卸・小売業と飲食・宿泊業の悪化が目立つ。今後の見通しは、全業種で△54・3ポイント減少と悪化予想をしている。

<当地区コメント> 採算についても、売上の項目と同じ傾向があらわれ、前年同期と比べて全業種で△61.5ポイントとなり、「好転」の回答は1件もなかった。前期比較では△57.5ポイント、来期の見通しでは△48.1ポイントとなっている。やはり、卸・小売業の数値が悪く、飲食・宿泊業も見通しが暗い状況であるが、全体として来期の見通しにおいてマイナス幅が少なくなっているのが好材料である。

3. 仕入単価について

・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業		25.9%	69.4%	4.7%	21.2	10.6	10.8
	製造業		17.4%	73.9%	8.7%	8.7	4.5	9.1
	卸・小売業		35.9%	53.8%	10.3%	25.6	28.2	12.8
	飲食・宿泊業		44.2%	53.8%	1.9%	42.3	23.1	26.9
	サービス業		15.4%	75.0%	9.6%	5.8	△ 3.8	△ 9.6
	全業種合計		29.3%	63.8%	6.9%	22.4	14.5	10.5
地域別 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業		50.0%	50.0%	0.0%	50.0	37.5	50.0
	製造業		33.3%	50.0%	16.7%	16.7	0.0	33.3
	卸・小売業		75.0%	25.0%	0.0%	75.0	50.0	75.0
	飲食・宿泊業		50.0%	50.0%	0.0%	50.0	50.0	50.0
	サービス業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
	全業種合計		37.0%	59.3%	3.7%	33.3	22.2	37.0

<全域コメント> 仕入単価は、前年同期と比べて、全業種で22・4ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業の上昇が目立つが、不変割合は63・8%ある。前期比では、サービス業では下降であるが、その他業種では上昇傾向である。今後の見通しでも、この傾向は変わらず、売上原価の上昇が見え隠れする。

<当地区コメント> 仕入単価は、サービス業において、各期の比較と見通しがすべて「不変」となっているのを除き、上昇傾向が伺える。特に、卸・小売業で「上昇」の回答が多くなっており、売上の減少に加えて仕入単価の上昇があり、非常に厳しい状況が伺える。

4. 販売（客）単価について

・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業	2.4%	77.6%	20.0%	△ 17.6	△ 18.8	△ 23.8
	製造業	4.3%	78.3%	17.4%	△ 13.0	△ 22.7	△ 18.2
	卸・小売業	6.4%	50.0%	43.6%	△ 37.2	△ 26.9	△ 37.2
	飲食・宿泊業	1.9%	61.5%	36.5%	△ 34.6	△ 21.2	△ 34.6
	サービス業	9.6%	69.2%	21.2%	△ 11.5	△ 13.5	△ 25.0
	全業種合計	4.8%	65.9%	29.3%	△ 24.5	△ 20.8	△ 29.2
地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	製造業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
	卸・小売業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 75.0	△ 100.0
	飲食・宿泊業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	サービス業	0.0%	85.7%	14.3%	△ 14.3	△ 14.3	△ 14.3
	全業種合計	0.0%	74.1%	25.9%	△ 25.9	△ 29.6	△ 33.3

<全域コメント> 販売単価は、前年同期と比べて、全業種で△24.5ポイントと減少。特に、卸・小売業と飲食・宿泊業の減少幅が目立つが、不変割合は65.9%ある。前期比でも、全業種で△20.8ポイントと減少し、今後の見通しでも、全業種で減少予想をしており、需要の停滞、消費動向の変化が見受けられる。

<当地区コメント> 販売単価は、前年同期と比べて、全業種で△25.9ポイントとなっており、「不変」とする回答が多いものの、不変以外は全て「減少」という回答である。前期比でも、全業種で△29.6ポイントであり、卸・小売業の「減少」回答が目立つ。来期の見通しにおいても同じ傾向があらわれ、全業種でのマイナス幅は大きくなっている。

5. 資金繰りについて

・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業	7.1%	67.1%	25.9%	△ 18.8	△ 10.6	△ 34.5
	製造業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 18.2	△ 17.4
	卸・小売業	5.1%	56.4%	38.5%	△ 33.3	△ 25.6	△ 35.9
	飲食・宿泊業	1.9%	59.6%	38.5%	△ 36.5	△ 23.1	△ 50.0
	サービス業	7.5%	73.6%	18.9%	△ 11.3	△ 13.2	△ 22.6
	全業種合計	5.1%	65.4%	29.5%	△ 24.3	△ 17.9	△ 34.1
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
	建設業	0.0%	62.5%	37.5%	△ 37.5	△ 25.0	△ 12.5
	製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 40.0	△ 33.3
	卸・小売業	0.0%	25.0%	75.0%	△ 75.0	△ 75.0	△ 75.0
	飲食・宿泊業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	△ 100.0
	サービス業	0.0%	71.4%	28.6%	△ 28.6	△ 42.9	△ 28.6
	全業種合計	0.0%	63.0%	37.0%	△ 37.0	△ 38.5	△ 37.0

<全体コメント> 資金繰りは、前年同期と比べて、全業種で△24.3ポイントと悪化。特に、卸・小売業と飲食・宿泊業の悪化が目立つが、不変割合も65.4%ある。前期比では、全業種で△17.9ポイントと悪化。今後の見通しでも、全業種で△34.1ポイントと悪化予想している。特に、飲食・宿泊業の悪化予想は大きく、注視する必要がある。

<当地区コメント> 資金繰りは、前年同期と比べて、全業種で△37.0ポイントであり、ここでも卸・小売業の「悪化」が目立っている。前期比と来期の見通しでも全業種では同じようなマイナス幅になっているが、業種別では、卸・小売業が悪化傾向にあり、建設業では好転の兆しが伺える内容となっている。

6. 従業員数について

・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		増加 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
<p>減少, 9.3% 増加, 5.5%</p> <p>不変, 85.1%</p>							
建設業		7.1%	76.5%	16.5%	△ 9.4	△ 14.1	△ 15.5
製造業		13.0%	78.3%	8.7%	4.3	14.3	△ 4.5
卸・小売業		3.9%	92.1%	3.9%	0.0	△ 1.3	0.0
飲食・宿泊業		1.9%	88.5%	9.6%	△ 7.7	△ 5.8	△ 15.4
サービス業		5.7%	88.7%	5.7%	0.0	△ 1.9	△ 5.7
全業種合計		5.5%	85.1%	9.3%	△ 3.8	△ 4.9	△ 8.7

地域別 全業種合計		増加 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I
<p>減少, 3.7% 増加, 7.4%</p> <p>不変, 88.9%</p>							
建設業		12.5%	75.0%	12.5%	0.0	△ 12.5	△ 12.5
製造業		16.7%	83.3%	0.0%	16.7	0.0	0.0
卸・小売業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
飲食・宿泊業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	△ 50.0
サービス業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	14.3
全業種合計		7.4%	88.9%	3.7%	3.7	△ 3.8	△ 3.7

<全域コメント> 従業員数は、前年同期と比べて、全業種で△3.8ポイント減少であるが、製造業は増加であり、不変割合は85.1%である。前期比では、全業種で△4.9ポイントと減少であるが、製造業は14.3ポイントと増加。今後の見通しでは、卸・小売業以外は減少を予想している。

<当地区コメント> 従業員数は、前年同期比、前期比とも「不変」という回答が多く、来期の見通しにおいても同じ傾向である。十日町市内全体でも同じ傾向が伺える。

7. 景況判断について

・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
<p>好転, 6.3%</p> <p>悪化, 50.7%</p> <p>不変, 43.1%</p>							
建設業		4.7%	45.9%	49.4%	△ 44.7	△ 32.9	△ 56.1
製造業		13.0%	52.2%	34.8%	△ 21.7	△ 22.7	△ 36.4
卸・小売業		1.3%	34.2%	64.5%	△ 63.2	△ 48.7	△ 68.4
飲食・宿泊業		7.8%	39.2%	52.9%	△ 45.1	△ 39.2	△ 58.8
サービス業		11.3%	50.9%	37.7%	△ 26.4	△ 26.4	△ 45.3
全業種合計		6.3%	43.1%	50.7%	△ 44.4	△ 36.2	△ 56.3

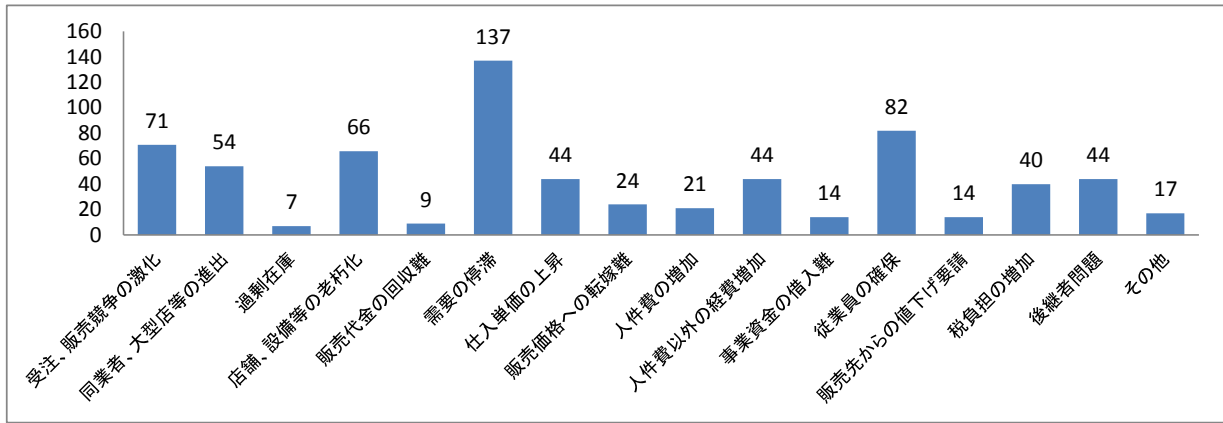
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
<p>好転, 3.8%</p> <p>悪化, 53.8%</p> <p>不変, 42.3%</p>							
建設業		0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 42.9
製造業		20.0%	40.0%	40.0%	△ 20.0	△ 20.0	△ 60.0
卸・小売業		0.0%	0.0%	100.0%	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0
飲食・宿泊業		0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 100.0
サービス業		0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 57.1	△ 42.9
全業種合計		3.8%	42.3%	53.8%	△ 50.0	△ 53.8	△ 60.0

<全域コメント> 景況判断は、前年同期と比べて、全業種で△44.4ポイントと悪化。建設業及び卸・小売業並びに飲食・宿泊業の悪化が目立つが、不変割合は43.1%ある。前期比でも、この悪化傾向は変わらず、今後の見通しについては、全業種で△56.3ポイントと大幅に悪化を予想している。

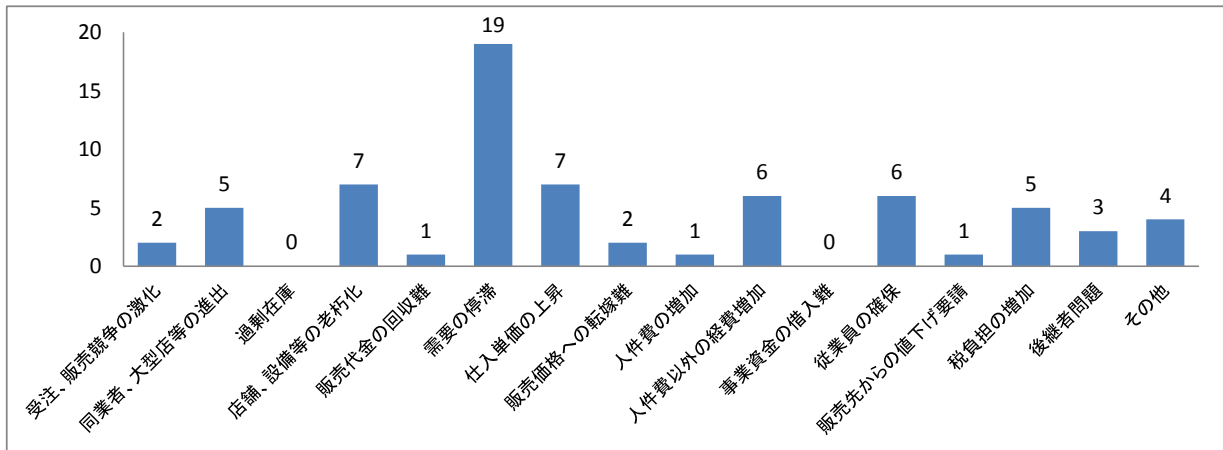
<当地区コメント> 景況判断は、前年同期比で製造業に「好転」の回答があったほかは、「不変」と「悪化」が均衡している状況で、全業種のDIは△50.0ポイントとなっている。前期との比較では、全業種で△53.8ポイント、来期の見通しでは、全業種で△60.0ポイントになっている。業種別では、卸・小売業の「悪化」が目立ち、飲食・宿泊業の見通しも「悪化」が見込まれている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<全域コメント> 経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「受注、販売競争の激化」4位「店舗、設備等の老朽化」となり、前回調査との比較で、2位と3位が入れ替わった。

<当地区コメント> 前回調査と同様に、まつだい地区の経営上の問題点の1位は「需要の停滞」となっている。続いて「店舗・設備の老朽化」、「仕入単価の上昇」、「人件費以外の経費増加」、「従業員の確保」などが均衡している。前回調査に比べて、「人件費以外の経費の増加」や「従業員の確保」を課題に上げる事業所が増加している。

9. 後継者の状況について

・10月～12月時点での後継者の状況は

商工会地域全体 全業種合計

	有り	無し
建設業	37.6%	62.4%
製造業	58.3%	41.7%
卸・小売業	29.5%	70.5%
飲食・宿泊業	46.2%	53.8%
サービス業	27.3%	72.7%
全業種合計	36.7%	63.3%

地域別 全業種合計

	有り	無し
建設業	37.5%	62.5%
製造業	50.0%	50.0%
卸・小売業	0.0%	100.0%
飲食・宿泊業	0.0%	100.0%
サービス業	14.3%	85.7%
全業種合計	25.9%	74.1%

<全域コメント>

後継者の状況は、全業種合計で63.3%の事業所で後継者がいない状況である。特に、卸・小売業とサービス業では、70%以上の事業所で後継者がいない。次年度は、この状況を詳しく調査していく必要がある。

<当地区コメント>

まつだい地域の後継者の状況については、後継者なしと回答する事業所が8割近くあり、業種によっては100%無しの業種もある。但し、調査対象事業所は商工業者の約5分の1であり、偏った回答になっている可能性もある。

10. 地域全体の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

<全域コメント>

【建設業】

今期の景況を前年同期と比較すると、すべての項目で悪化しており、売上の減少と売上原価の上昇で採算が悪くなっている。前期との比較でも、この傾向は変わらず、今後の見通しでは、2年続きの小雪の影響も相まって、更に悪化予想をしている。一方、経営上の問題点として、1位「従業員の確保」2位「受注、販売競争の激化」3位「需要の停滞」4位「後継者問題」となっており、事業を継続する上で、人材の確保を考えている経営者が多く見られる。

【製造業】

今期の景況を前年同期と比較すると、すべての項目で悪化しており、売上の減少と売上原価の上昇で採算が悪くなっているが、先行きを見越して従業員数は増加している。前期との比較でも、この傾向は変わらないが、今後の見通しでは、世界的な政治・経済問題を加味し、不透明感が漂っていることから、すべての項目で悪化を予想している。又、経営上の問題点として「需要の停滞」が群を抜いている。

【卸・小売業】

今期の景況状況を前年同期と比較すると、仕入単価の上昇と販売単価の減少により、売上が大きく減少し、採算が悪化した。前期との比較でも、この傾向に歯止めが掛らず悪化し、今後の見通しでも、大きく悪化すると予想しているため、注視していかなくてはならない。

経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」3位「受注、販売競争の激化」となっている。

【飲食・宿泊業】

今期の景況状況を前年同期と比較すると、仕入単価が大きく上昇し売上原価を上昇させ、販売単価の減少も相まって売上が減少により採算も悪化した。前期との比較でも、この傾向は変わらず、厳しい経営状況が続いている。今後の見通しでは、更に悪化を予想しており、従業員の更なる解雇まで考慮していることが見受けられる。経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「仕入単価の上昇」となっている。

【サービス業】

今期の景況状況を前年同期と比較すると、仕入単価の上昇と販売単価の減少により、従業員数を除き各項目とも悪化している。前期との比較では、仕入単価は下降しているが、売上項目他が悪化し、従業員数も減少となった。今後の見通しでは、売上は△61.1ポイントと減少予想しており、益々厳しい経営を予想している。経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「店舗、設備等の老朽化」となっている。

以上業種別景況概要を踏まえると、全産業ベースで前年同期と比べ仕入単価の上昇と売上減少で採算が悪化していると言える。前期(夏)と比べても悪化傾向にあり、今後の見通しでは、更に厳しい状況になるとしている経営者が多いが、好転している企業もあり、先を見据えた人材確保を考えている経営者もいることは明るい材料である。

<当地区コメント>

【建設業】

前年同期比及び前期比では、売上と採算性の項目において「減少・悪化」の回答が多く、販売単価と資金繰りの項目においては「減少・悪化」の回答もあるものの「不変」とする回答が多い。売上の減少による業績の悪化はあるものの、資金繰りでは何とか凌いでいるようである。来期の見通しでは、売上と採算性の項目で「増加・好転」の回答が若干あるが、景況判断は厳しいものとなっている。経営課題では、需要の停滞、経費の増加、従業員の確保を上げている事業所が多い。

【製造業】

前年同期比では、売上と採算性の項目で「減少・悪化」と「不変」の回答が均衡しているが、前期比では「増加・好転」の回答もあり、来期の見通しでは「増加・好転」の回答が増えている。販売単価と資金繰りの項目では「増加・好転」の回答が全くなく、景況判断は厳しいものとなっている。経営上の課題は、需要の停滞、仕入単価の上昇、店舗・設備の老朽化を上げる事業所が多くなっている。

【卸・小売業】

前年同期比・前期比ともに、売上・採算性・販売単価・資金繰りの各項目で「減少・悪化」を回答する事業所が多く、加えて仕入単価の上昇が経営を圧迫している状況が伺える。来期の見通しにおいても、売上・採算性・販売単価・資金繰りの各項目で「減少・悪化」の回答が多く、景況判断は全ての事業所が「悪化」を回答し、業績の悪化に歯止めがかからず非常に厳しい状況となっている。経営の課題には、需要の停滞、同業者・大型店等への流出が上げられている。

【飲食・宿泊業】

前年同期比では、売上・採算性・販売単価の項目で、「不変」と「減少・悪化」が同数、前期比では、売上・採算性の項目で「増加・好転」と「減少・悪化」が同数となっている。来期の見通しでは、売上・採算性・資金繰りの項目で全て「減少・悪化」の回答となっており、景況判断においても悪化する見通しとなっている。経営課題としては、需要の停滞と店舗・設備等の老朽化、仕入単価の上昇が上げられている。

【サービス業】

前年同期比では、売上・採算性の項目で「不変」と「減少・悪化」が均衡し、販売単価・資金繰りの項目では「不変」の回答が多くなっている。前期比では売上・採算性の項目で「減少・悪化」の回答が若干多くなり、来期の見通しでは、再び「不変」と「減少・悪化」の回答が均衡している。この業種では、仕入単価の項目で、全て「不変」の回答であり特徴的となっている。全ての比較で「上昇・好転」の回答がなく、経営状況は、現状維持と悪化が均衡した業種となっている。

以上、第3四半期における景況判断を業種別にみると、卸・小売業が非常に悪く、打つ手のない状況が伺える。サービス業と飲食・宿泊業では、据え置きと悪化が分かれる状況となっており、やはり好転の兆しからは遠い現状がうかがえる。全業種を通じて、売上や販売単価の減少に加えて仕入単価の上昇があり、採算性の悪化・資金繰りの悪化を招いている状況が伺える。